

## 植物多様性センターの「オカタツナミソウの閉鎖花」

オカタツナミソウは、丘陵地などで多く見られるシソ科の多年草です。春の開放花は青紫色の唇形花で、訪花昆虫を呼ぶための典型的な花のつくりです。ところが、夏以降は小さな白っぽい蕾がつくだけで、開かないまま果実となります。閉鎖花をつける植物というと、スミレやセンボンヤリなどが有名ですが、ひっそりと林縁に咲くオカタツナミソウも、夏にはしっかり閉鎖花を咲かせるのですね。



春の開放花:5月 シソ科特有の唇形花を茎頂に咲かせる



開放花の果実:6月には果実が熟し始める



夏の閉鎖花:7月 小さな蕾のまま開かずに果実が膨らむ



閉鎖花の果実:8月 下から熟し、1果に4つの種子ができる